

5月着工3ヶ月連続で増加

— 国土交通省 —

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.8%増となる71,720万戸で、3ヶ月連続で増加した。

持家が16ヶ月ぶりに増加に転じ、貸家、分譲住宅も増加。4月に引き続き、駆け込み需要の反動減から持ち直し傾向が見られる。

年率換算値は91万1184戸となる。

民間住宅ローンの実態調査

— 平成26年度 国土交通省・住宅局 —

家づくりには不可欠な住宅ローンの、26年度の傾向を見てみると、

25年度末時点での貸出残高は、127兆5622億円、24年度末で124兆684億円で、前年比2.8%増となっている。金利タイプ別では、25年度は「変動金利型」49.7%、「固定金利期間選択型」35.2%が次いでいる。

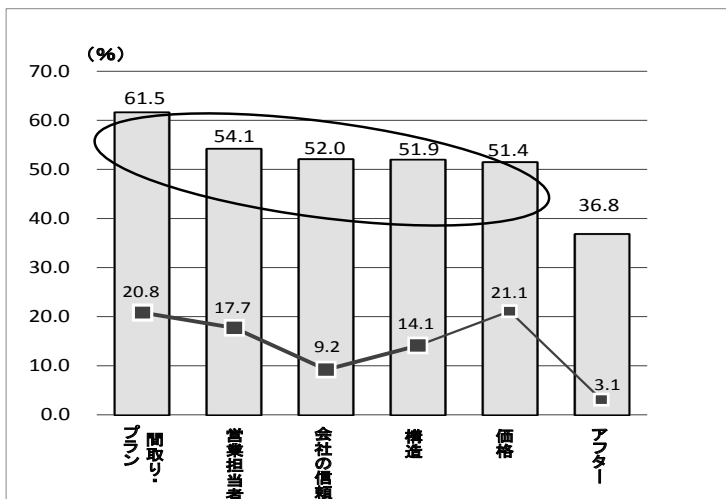
クロージングの効果的手法

— 契約理由の5大ポイント —

一般的にクロージングとは「契約（受注）をお客様に依頼すること」ですが、最終的なクロージングまでに、①間取り・プラン②営業担当者③会社の信頼性④構造性能⑤価格の妥当性の契約理由の5大ポイントについて、お客様に「納得」してもらう必要がある。

これらのポイントについて納得してもらう前に、クロージングを急いで行くと、商談が失敗してしまう事になりかねない。

契約を急ぎたい気持ちを抑えて、丁寧な商談を心掛ける事が成功への近道である。



ロボットスーツ導入で建設作業員の負担軽減

— まもなく運用スタート —

大和ハウス、大和小田急建設、フジタ、大和リースは5月1日から、サイバーダイナ社が開発・製造する「ロボットスーツHAL作業支援用 腰タイプ」を建設現場などに導入し、作業員の負担を低減する為の現場実証を開始する。

1年後には実運用する方針だ。

新築工事費（全国平均）

全国平均51万円/坪 2012年

- ・木造2階建て、延べ面積150㎡程度の戸建て住宅を想定
- ・諸経費（現場管理費、一般管理費など）を含む
- ・カーテン・照明器具・外構工事を除く。

北海道	48万2千円	甲信越	52万0千円
東北	47万9千円	近畿	48万0千円
北関東	50万8千円	大阪圏	52万7千円
東京圏	57万8千円	九州	48万4千円

建設作業員の就労履歴、340万人一元管理

— ゼネコンと国土交通省 —

鹿島や大林組などのゼネコン（総合建設会社）と国土交通省は、全国の建設現場で働く約340万人の作業員の就労履歴を一元管理するシステムを構築する。

現場ごとに記録する情報を集約して「誰が」「いつどこで」「どの様な仕事をしたか」が簡単に分かるようにする。

人手不足が深刻になるなか、技能や経験に基づいて待遇を改善すると同時に、最適な人材を見つけやすくする。作業員一人にIDを発行し、現場名や担当した仕事、保有資格などのデータを集める。

全国どこで働いても履歴が蓄積できる様にする。建設会社は新システムを使って、必要な技能などを持った人材を見つけやすくする。

17年度を目処に運用を始めたい考えだ。

超軽量の天井石膏ボードを開発

— 吉野石膏 —

吉野石膏は、従来品より25%軽量化に成功した天井用石膏ボードを開発した。12月2日に発売する。

従来品の「タイガージプトーン・ライト」などと比べて、重量は1坪あたり20.5kgから15.7kgに軽量化を実現、軽くなったことで施工性が向上した。